

第16回
明治丸
シンポジウム

明治丸が拓いた 小笠原との航路

小笠原諸島返還50周年に向けて

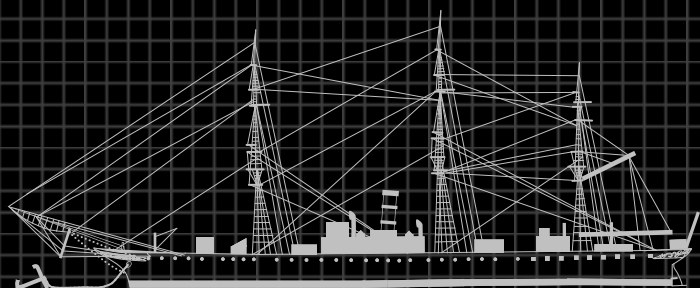
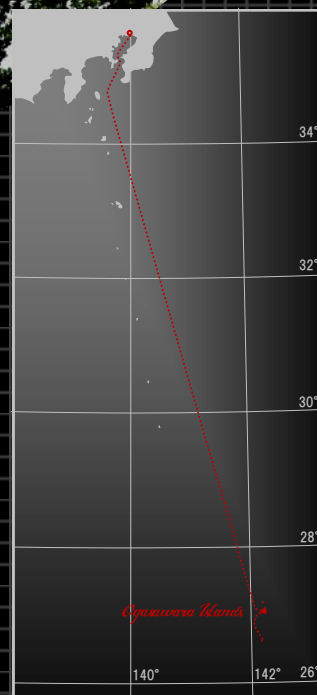
みち

会場：
東京海洋大学 越中島キャンパス
越中島会館2階講堂

平成29年7月17日(海の日)
13:30～17:25

入場無料・事前予約不要

主催：国立大学法人 東京海洋大学
後援：小笠原諸島返還50周年記念事業実行委員会
協力：深川観光協会、NPO法人 江東区の水辺に親しむ会



東京海洋大学
明治丸海事ミュージアム
〒135-8533 東京都江東区越中島2-1-6 TEL03-5245-7360

第16回 明治丸シンポジウム

明治丸が拓いた 小笠原との航路(みち)

～小笠原諸島返還50周年に向けて～



講演者のご紹介



庄司 邦昭さん(基調講演)

東京海洋大学 名誉教授
平成4(1992)年 東京商船大学 教授
平成23(2011)年 東京海洋大学 名誉教授
国土交通省運輸安全委員会委員
著書に『図説 船の歴史』(河出書房新社)ほか



セーボレー 孝さん(講演I)

小笠原諸島が米軍統治下にあった父島で生まれ、10歳のとき小笠原諸島が日本に返還、日本語教育を受ける。先祖は1830年に無人島であった父島に最初に移住した、米国マサチューセッツ州出身のナサニエル・セーボレー氏



小笠原古謡唄うたい okeiさん(演奏)

小笠原父島に移り住み、小笠原古謡と出会う。以後、小笠原諸島と本州の架け橋となるべく伊豆・小笠原諸島のイベントやライブ活動、ラジオなどに出演中。平成28(2016)年 3代目おがさわら丸進水式で国歌独唱
平成29(2017)年 小笠原母島観光大使に就任



仲田 成徳さん(講演II)

昭和55(1980)年より日本離島センター勤務
平成28(2016)年より事務局長
離島に関する各種調査研究はじめ、島の総合交流イベント企画・運営など様々な業務に従事。
著書に「島-日本編」(共著・講談社)ほか



奥田 勝巳さん(講演III)

平成21(2009)年4月より小笠原海運勤務
平成23(2011)年6月、小笠原諸島のユネスコ世界自然遺産登録による船客増加に伴い新造した「3代目 おがさわら丸」就航に平成28(2016)年7月より、営業部長として携わる

明治丸の歴史的活躍のひとつに、明治8(1875)年の小笠原諸島航海があります。これにより、日本政府は小笠原領有の基礎を固めることができました。

小笠原諸島返還50周年の前年にあたる今回の「明治丸シンポジウム」では、明治以降の小笠原の辿ってきた道のりを振り返ることで、明治丸と小笠原諸島の深いつながりを思い起こしたいと思います。また、離島が抱える課題や交通問題とともに、現在の小笠原諸島を結んでいる海上交通の役割についても考えてみましょう。



小笠原父島二見浦の明治丸とカーリヤー号(いずれも明治8年)



父島の内瀬浦にて島民所有クノ一船、漕ぎ手は明治丸乗組員



父島の内瀬瀬海亀田置場に於て船上に明治丸乗組員

プログラム

総合司会：須永 倭子
(NPO法人 江東区の水辺に親しむ会)

- 13:00 開場
- 13:30 開会
開会挨拶：竹内 俊郎
(東京海洋大学 学長)
- 来賓挨拶：山崎 孝明(江東区長)
- 来賓挨拶：小野 恭一(東京都港湾局 技監)
- 13:50 基調講演「小笠原を見た船たち」
庄司 邦昭(東京海洋大学 名誉教授)
- 14:30 講演I「小笠原の黎明期から今日まで」
セーボレー 孝(小笠原役場 総務課長)
- 15:10 演奏 小笠原古謡
okei(小笠原古謡唄うたい)
- 15:40 休憩
- 16:00 講演II「日本の離島の現況」
仲田 成徳
(公益財団法人 日本離島センター 事務局長)
- 16:40 講演III「小笠原と結ぶ船、おがさわら丸」
奥田 勝巳(小笠原海運株式会社 営業部長)
- 17:20 閉会挨拶：岩本 勝美
(明治丸海事ミュージアム 館長)
- 17:25 閉会

(明治丸シンポジウムは、明治丸海事ミュージアム事業の一環として開催しております)

JR京葉線・武蔵野線 越中島駅から 徒歩 2分
地下鉄東西線・大江戸線 門前仲町駅から 徒歩 10分
地下鉄有楽町線・大江戸線 月島駅から 徒歩 10分

東京海洋大学
明治丸海事ミュージアム

〒135-8533 東京都江東区越中島2-1-6 TEL03-5245-7360

